

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	K.N	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4年	派遣国	ドイツ
派遣大学	ゲーテ大学		
期間	2023年9月1日～ 2024年8月11日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ( )				
部屋	<u>個室</u> / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ( )				
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○				
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所 ○
	キッチン	◎	冷暖房	暖房のみ	冷蔵庫 ◎
滞在費	約 ( 45,000 ) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃				
移動	( 徒歩 ) で、約 ( 25 ) 分 *大学までの所要時間と移動方法				

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	25,000 円	食費
学用品購入費	3,300 円	教科書代
交通費	5,000 円	Semester ticket 176.40€
交際費	5,000 円	外食費
その他	5,000 円	日用品、通信費
<b>合計</b>	<b>43,300 円</b>	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

フランクフルト駅周辺は夜、特に気をつけて歩く必要があると思います。フランクフルト全体としては、昼間はそこまで治安が悪いと感じることはないですが、暗くなってからは1人で外出することは控えた方が良いでしょう。夜に声を掛けられ、暴力を振るわれそうになった話を友人から聞いたことがあるため、暗くなってからは1人で出歩かない、友人と行動する方が賢明だと考えます。

### 3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ( )		
加入期間	( 12 ) ヶ月間	保険料	( 125,230 ) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Techniker Krankenkasse (TK)		
加入期間	( 12 ) ヶ月間	保険料	( 20,000 ) 円/月

### 4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 ( **フランクフルト** )

近代的な建物と古い建物が融合しているような都市であるということができると思います。レストランや買い物に行くのにも困ることはなく、またガーデンや動物園、美術館など観光するところや緑が豊かでリラックスできるところもあり、比較的過ごしやすいように感じました。しかし、ホームレスの数や事件の件数は多いように感じられ、日本と全く同じ過ごしやすさではないことはもちろん注意するべきだと思います。言語に関してはフランクフルトという大都市ということもあって、英語が比較的通じますが、ドイツ語が話せるならよりよいと言わざるを得ません。

## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	ゲーテ大学	所在地	フランクフルト
最寄空港	フランクフルト空港	空港からの距離	18km
空港⇄大学	(フランクフルト空港—S8, 9—Frankfurt Taunusanlage—徒歩—Frankfurt Alte Oper—Bus64—Frankfurt Bremer Platz—徒歩—大学) *移動手段		
学生数	48,000	留学生数	7,600
学部	Law Economics and Business Social Sciences Educational Sciences Psychology and Sports Protestant Theology Roman Catholic Theology Philosophy and History Linguistics, Cultural Studies, and Art Modern Languages Geosciences and Geography Computer Science and Mathematics Physics Biochemistry, Chemistry and Pharmacy Biosciences Medical Sciences  *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Social Sciences  *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① ( 10 )月～( 2 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			AkadeMi A 10:00~14:00		AkadeMi A 10:00~12:00
午後		Leadership, organizations, and gender 14:00~16:00			

② ( 4 )月～( 7 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後		AkadeMi B 16:00~18:00	Gender in Society 12:00~16:00	AkadeMi B 16:00~18:00	

### 3. 履修内容

科目	Deutsch Intensiv für Austauschstudierende (DIA)		
履修期間	9/4~9/29	単位数	4ECTS
授業内容／形態	留学生向けドイツ語集中講座 A2.1 レベル		
成績	1,7(gut)		
YCU 振替予定	科目	ドイツ語教養実践	
	単位数	3	
	担当教員	池谷尚美、マテイー ズザンヌ	

科目	AkadeMi A		
履修期間	winter semester 2023/24	単位数	9ECTS
授業内容／形態	留学生向けドイツ語クラス A1.2 レベル		
成績	2,0(gut)		
YCU 振替予定	科目	ドイツ語教養基礎 II	
	単位数	3	
	担当教員	大澤遼可、グラスミュック マルクス、マテイー ズザンヌ	

科目	Leadership, organizations, and gender		
履修期間	winter semester 2023/24	単位数	3ECTS
授業内容／形態	主に、組織におけるリーダーという立場が男女で対等に占められているわけではないという階層的隔離を、社会学、経済学、心理学の観点から探求していく授業。 <授業形態> ディスカッション		
成績	TN (Participation without individual grading)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	AkadeMi B		
履修期間	summer semester 2024	単位数	9ECTS
授業内容／形態	留学生向けドイツ語クラス A2.2 レベル		
成績	1,7(gut)		
YCU 振替予定	科目	1	
	単位数	ドイツ語中級	
	担当教員	マテーイ ズザンヌ	

科目	Gender in Society		
履修期間	summer semester 2024	単位数	
授業内容／形態	ジェンダーに関する様々なトピックについて理解を深め、ジェンダーの社会的構築を探り、それが社会組織や男性、女性、子どもの日常生活にどのように影響するかを検証する授業。 <授業形態> ディスカッション&グループワーク		
成績	参加（授業・グループワーク・プレゼンテーション）		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Volleyball Freies Spiel		
履修期間	summer semester 2024	単位数	
授業内容／形態	毎週2時間のバレーボールのクラス 大学生だけではなく、大学に勤めている人、社会人、インターンをしている人など、年齢関係なく参加できる		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

## <総括>

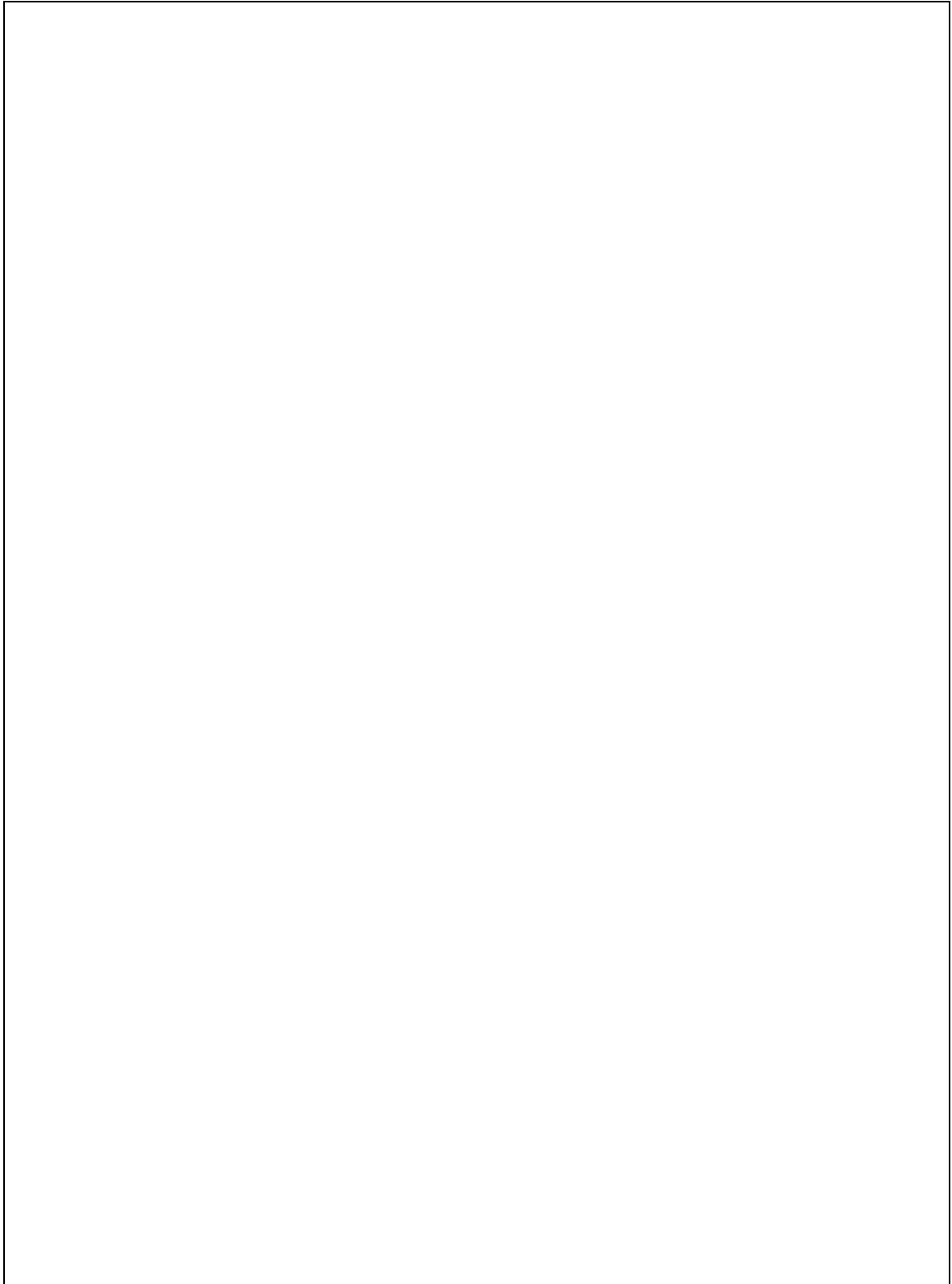
(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

まず留学生生活全体を通して気づいたことは、周りの学生のレベルの高さ、勉強に対する熱量の高さです。英語が話せることは当たり前で、そこから何を学ぶか、何を考えるか、何を話すかが重要とされています。授業で求められる英語力はより専門的で、授業も比較的発展的な内容が多いように感じました。Readingの量も多く、プレゼンテーションの伝え方が上手な学生が多く、圧倒されることが多々ありました。留学前にどれだけ英語力を伸ばすことができるか、また留学中にどれだけ諦めずに勉強と向き合い続けるかが大切であると気づかされました。もちろん留学後も英語を学び続けていきたいと思っています。

また、その土地の言語を話すことがその国の文化を学ぶ上でも、とても重要なことの1つであると留学生生活を通して一番痛感しました。フランクフルトという都市は大都市で、若い世代では英語を当たり前のように使うことができる人が多いですが、基本的にはもちろんドイツ語を話す人が圧倒的に多いのが実情です。Winter semesterは留学生と関わる機会がドイツ人の学生と関わるよりも圧倒的に多く、英語だけで生活することに特に不自由を感じることは多くありませんでした。しかし、Summer semesterはバレーボールのクラスを取り、ほとんどがドイツ人の中でプレーしていると、ドイツ語が話すことができたらずと強く感じるようになりました。そこで友人も増え、ビーチバレーに誘われ、平日の夕方や週末にビーチバレーをするようになりましたが、もちろんドイツ語が使われることがほとんどでした。簡単なドイツ語は理解できる、話すことができて、ネイティブの会話についていくことはまだまだ難しく、英語で会話するということがほとんどでした。ドイツ語を話すことができたらずと早くより親しくなることができたのではないかと考えることもありました。このようにドイツ語で会話できたらずと思う場面が圧倒的に増え、自分の勉強不足を痛感しましたが、ドイツ語をもっと頑張りたいと思うモチベーションが高まりました。ある友人に「その国の文化を学びたい、知りたいと思うならば、その国の言語を話せるようにならないと」と言われたことがありましたが、この言葉に尽きるように現在は強く感じています。

そして、事前準備の大切さ、どうしても分からなくなったとき、助けが必要なときには家族や友人を頼ることの大切さにも、改めて気づくようになりました。ドイツではビザの取得や閉鎖口座、口座開設、住民登録など、現地に着いてから行う必要がある手続きも多く、最初は苦勞することが多いように感じます。最初1人でやってみてどうしても分からない、八方塞がりだと感じたら、同じ留学生、ドイツ人の友人に助けを借りるなど、早め早めに行動に移す、助けを求めることが重要だと学びました。





(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

この留学を経て、人間関係の構築や自己管理能力、適応力が留学前と比較し、上がったように感じています。海外出身の友人たちと接する中で、コミュニケーションの取り方、目標に対する姿勢から学ぶことが多々あり、それを日常生活、キャリアに活かしていきたいです。

語学力に関しては TOEFL や TOEIC の受験、またドイツ語検定試験にも挑戦しようと考えています。留学前と比較してどのくらいできるようになったのか、そしてこれからも学習を続けていく上でのマイルストーンとなるように受験し、引き続き勉強に取り組みたいです。留学が終わったからと満足して、学習を終えるのではなく、語学力の維持だけではなく、日々向上を目指して努力していきます。

そして、大学で学んだ社会学やジェンダー学から、これからの自分のキャリアをより考えるようになり、また企業に活かせる部分が少なからずあると感じたため、引き続き勉強を行い、留学でできた友人と意見交換をしながら、企業や社会に良い影響を与えられるように、学んだ経験を活かせるような人材になりたいと考えています。また、留学を通して築くことができた友人関係を大切に、連絡を取り続け、また会える日まで努力していきたいと強く思っています。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

何事も事前準備が大切だと思います。留学をしたいと思ったら、まずそのために早め早めに行動を起こすことは必要です。留学が決まったなら、語学力向上はもちろん、留學生活では何が必要で、どのような事前準備をしていたら、物事がスムーズに進むのか、その土地での暮らしはどのようなものなのか、日本でできることはすべて行ってから出国するなど、徹底的に準備をしておけば、渡航後に少しでも余裕は生まれると思います。留學生活を始めると、生活がガラッと変わり、ワクワクすることもあります。自分が想像している以上に疲労は溜まり、心理的な余裕もなくなってしまうがちだと感じます。少しでも未来の自分に余裕を持たせるという意味でも、できることは事前に行っておいた方が良いでしょう。

そして、留学中はそこでしかできない経験を思う存分、楽しむことがとても重要なことだと思います。勉強に真摯に向き合うことはもちろん、日本ではやっていなかったことに積極的に挑戦してみる、たくさんの人に出会ってみる、まず会話をしてみる、楽しむことが重要だと考えます。

皆さんの留學生活が実りあるものになりますよう、願っています。